

山梨の未来を担う人材育成検討委員会の設置について

1 目的

本県産業の成長・発展を図るため、県の人材育成機関における中長期的な人材育成の方向性について、産学官が連携して検討を行う。

2 設置の経緯

平成29年11月、産業技術短期大学校の在り方について審議した県職業能力開発審議会から、次のとおり答申を受けたことを踏まえ、産学官が連携して検討を行うこととした。

検討に当たっては、第4次産業革命、人口減少・少子高齢化、グローバル化など人材育成機関に共通する課題があるため、県の他の人材育成機関も対象とする。

<答申>

高校生の4年制志向や、高度な人材を求める企業の意見、新たな国の動き、他県の状況などを踏まえ、現行の2年制に対する産業界からの高い評価等を考慮する中で、本県産業の特性にあった人材育成の在り方を検討していくことが望ましい。

3 対象機関

宝石美術専門学校、産業技術短期大学校、峡南高等技術専門校、専門学校農業大学校

4 検討体制

(1) 山梨の未来を担う人材育成検討委員会（委員会）

- ①委員：17名（学識経験者5名、産業関係8名、労働関係1名、教育関係2名、保護者関係1名）
- ②内容：県の人材育成機関の方向性について検討

(2) ワーキンググループ（WG）

- ①委員：21名（学識経験者5名、産業分野関係者10名、教育関係者6名で構成）
- ②内容：委員会における意見を踏まえ、具体的な取り組みについて検討

5 スケジュール（予定）

平成30年 6月12日 第1回委員会開催
 8月頃 第2回委員会開催
 11月頃 第3回委員会開催
 3月頃 第4回委員会開催、報告書のまとめ

※必要に応じてWGを開催

山梨の未来を担う人材育成検討委員会委員名簿

任期：平成30年6月12日～平成31年3月31日（17名） (五十音順、敬称略)

所属団体・役職名	氏名	備考
一般社団法人山梨県情報通信業協会 会長	飯室 元邦	
一般社団法人山梨県専修学校各種学校協会 会長	伊藤 祐寛	
山梨県高等学校PTA連合会 会長	小澤 浩	
一般社団法人山梨県機械電子工業会 会長	加藤 正芳	
公益社団法人やまなし観光推進機構 理事長	鎌田 誠一	
山梨県水晶宝飾協同組合 理事長	小玉 実	
一般社団法人山梨県自動車整備振興会 会長	小林 達也	
公立大学法人山梨県立大学 学長	清水 一彦	委員長
公益財団法人山梨総合研究所 理事長	新藤 久和	
国立大学法人政策研究大学院大学 副学長	角南 篤	
山梨県農業協同組合中央会 会長	關本 得郎	
山梨県高等学校長協会 会長	田口 尚弥	
日本労働組合総連合会山梨県連合会 会長	萩原 雄二	
国立大学法人山梨大学 副学長	早川 正幸	
株式会社日本総合研究所 上席主任研究員	藤波 匠	
山梨県指導農業士会 会長	保坂 耕	
山梨県中小企業団体中央会 会長	細田 幸次	

人材育成機関の状況

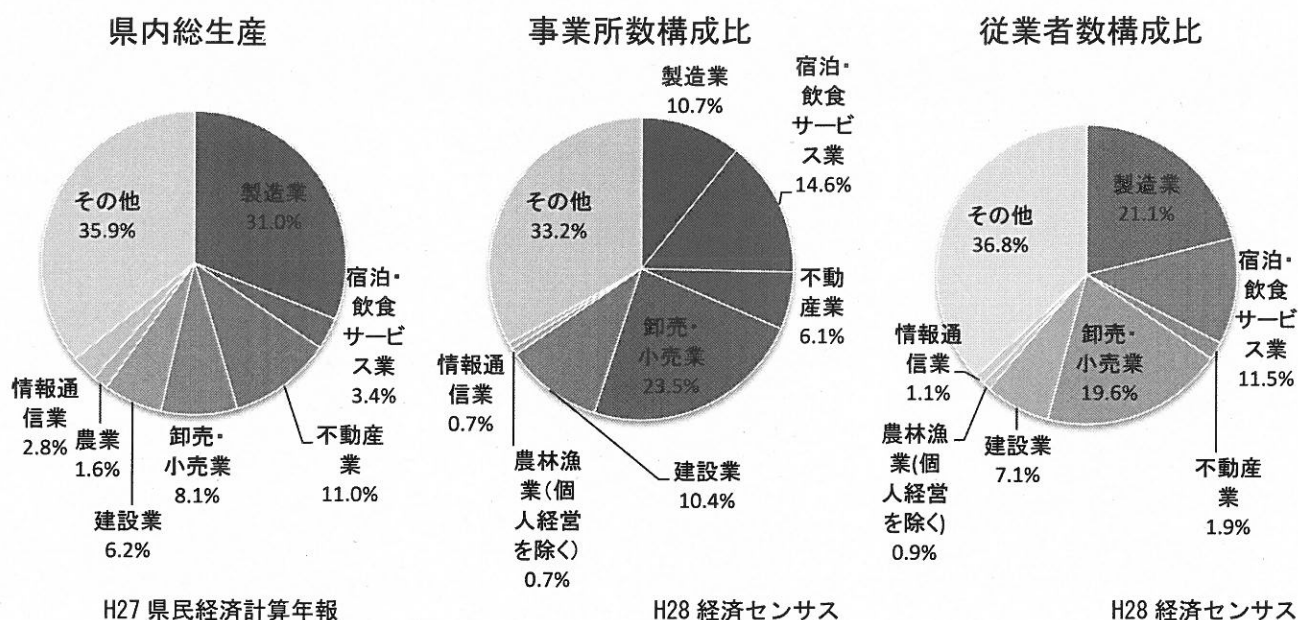
学校名		産業技術短期大学校						峡南高等技術専門校		宝石美術専門学校		専門学校農業大学校		
施設概要	所管省庁	厚生労働省						厚生労働省		文部科学省		文部科学省		
	根拠法令	職業能力開発促進法						職業能力開発促進法		学校教育法		学校教育法		
	開校年月	平成11年4月			平成25年4月			昭和23年4月		昭和56年4月		昭和45年4月		
	所在地	塩山キャンパス(甲州市)			都留キャンパス(都留市)			富士川町		甲府市		北杜市		
	特徴	機械系、電子系、情報系、観光系で即戦力となる技術者を育成する職業能力開発短期大学校						自動車整備士、電気工事士の養成を主眼とする職業能力開発校		山梨のジュエリー産業を担う人材を育成する国内唯一のジュエリーの公立専門学校		・実践力と経営感覚を備えた農業経営者の養成を主眼とする専門学校 ・専攻科では果樹経営のスペシャリストを養成		
学科状況	設置学科	生産技術科	電子技術科	観光ビジネス科	情報技術科	生産技術科	電子技術科	自動車整備科	電気システム科	ジュエリー学科		養成科	専攻科	
	現在育成している人材像	<ul style="list-style-type: none"> 生産技術科(塩山キャンパス・都留キャンパス) 機械工学の基礎をはじめとし、機械設計・機械加工・自動化技術などに対応できる、夢を形にかえる創造的なエンジニア 電子技術科(塩山キャンパス・都留キャンパス) ハードウェアとソフトウェアに関する能力を併せもった電子工学技術の発展に寄与できる人材 観光ビジネス科 ホテルや旅行業、観光産業等で活躍するための専門知識と接客サービスやプレゼンテーション、マーケティングなどの実践的な技術を身に付け、ホスピタリティ精神にあふれたスペシャリスト 情報技術科 コンピュータシステムを構築するための知識・技術を身につけ、ソフトウェア開発企業において活躍できる技術者 						<ul style="list-style-type: none"> 自動車整備科 最新の検査装置による自動車の点検・調整・整備ができる自動車整備士 電気システム科 電力設備に関する基礎理論から電気工事、設備保守ができる電気工事士 		日本一のジュエリーの生産地である山梨で培われた伝統を引き継ぎながら、未来へと発展させていけるパワフルな人材		農業の成長産業化や農山村の活性化を促進させるため、「高品質化、販路拡大による儲かる農業の展開」と「活力に満ちあふれた農山村の創造」を実現できる実践力と経営感覚を備えた農業経営者の育成を主眼に、生産から流通・販売までのアグリビジネスの実践を修得させ、これからの山梨県農業・農村を支える人材の育成を図る。		
	期待される職業	機械設計技術者 機械制御技術者 精密加工技術者	組込みエンジニア 電子回路設計技術者 電子機器製造技術者	ホテルマン 旅行業従事者 観光関連産業従事者	ソフトウェア開発技術者 システムエンジニア ネットワーク技術者	機械設計技術者 機械制御技術者 精密加工技術者	組込みエンジニア 電子回路設計技術者 電子機器製造技術者	自動車整備士	電気工事士	ジュエリーメーカーの営業、販売、企画、デザイン、加工等の職		就農 農業法人、農業団体、農業関連企業への就職		
	学位等							国土交通省認定二級自動車整備士	経済産業省認定第二種電気工事士	専門士		専門士		
	課程年数	2年						2年	1年	3年		2年	2年	
	定員数	20名	30名	20名	30名	15名	15名	25名	20名	35名		30名	若干名	
	年間授業時間	1,404時間						1,426時間		990時間		1,200時間		
	総授業時間数	2,808時間/2年						2,852時間/2年	1,426時間/1年	2,970時間/3年		2,400時間/2年	2,400時間/2年	
	入校状況	定員充足状況	78%	46%	112%	100%	69%	60%	93%	49%	99%		97%	100%
		出身学科	関連学科	16%	37%	0%	34%	58%	65%	25%	8%	15%		62%
非関連学科			84%	64%	100%	66%	42%	35%	75%	92%	85%		38%	14%
新卒既卒		新卒	89%	93%	94%	93%	93%	92%	89%	88%	80%		95%	90%
		既卒(前歴あり)	4%	3%	0%	0%	2%	2%	9%	11%	7%		1%	10%
		既卒(前歴なし)	7%	6%	6%	7%	5%	6%	2%	1%	13%		4%	0%
出身		県内	98%	100%	100%	98%	100%	100%	100%	100%	57%		93%	86%
	県外	2%	0%	0%	2%	0%	0%	0%	0%	41%		7%	14%	
	外国	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%		0%	0%	
就職状況	就職率	99%	100%	99%	100%	98%	100%	100%	100%	96%		95%	100%	
	県内就職率	94%	91%	78%	74%	98%	90%	86%	96%	62%		94%	80%	
	関連就職率	98%	83%	77%	78%	94%	94%	100%	100%	96%		93%	93%	
学費	授業料	390,000円/年額						118,800円/年額		390,000円/年額		118,800円/年額		
	入学料	169,200円						5,650円		169,200円		5,650円		
その他	その他の教育訓練など	在職者対象:37コース540人				在職者対象:23コース535人 求職者対象:6科10コース170人		在職者対象:17コース530人 求職者対象:10科14コース304人		在職者対象:高度技術専門コース 2ヶ月15名		求職者対象:職業訓練農業科(9ヶ月40名、6ヶ月20名)		
	これまでの取り組み	・平成25年度に都留キャンパス開校						・平成25年度職業訓練施設の再編に伴い建築科を廃止し、電気システム科を都留高等技術専門校から移管 ・平成29年度から自動車整備科の定員を20名から25名へ拡大		・平成25年9月 附属施設「山梨ジュエリーミュージアム」を開設 ・平成27年度から定員(50→35名)、修業年限(2→3年)を変更		・昭和45年4月 農業改良助長法に基づく農業者研修教育施設として開設 ・平成20年4月 学校教育法に基づく専修学校(専門学校)に位置づけ、養成科と専攻科に再編		

※入校状況、就職状況は直近5年間の平均値

山梨県の産業の状況

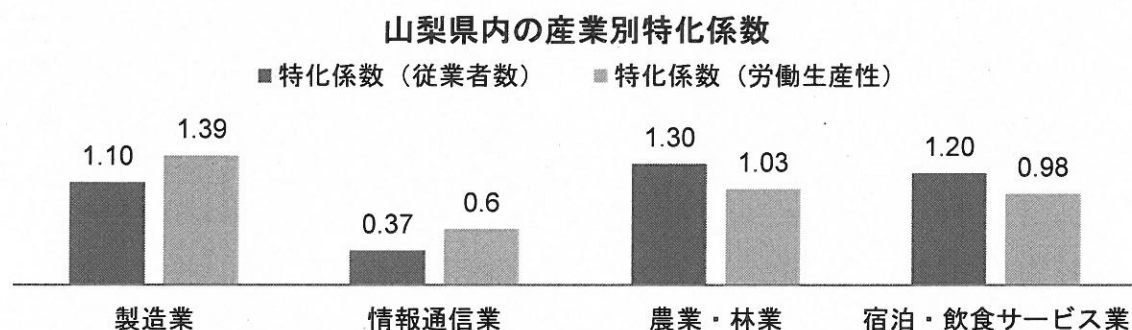
1 産業の状況と特徴

(1) 県内の産業状況



(2) 産業集積 (出典：経済産業省「H24 経済センサス活動調査」resasにより再編加工)

- 産業集積特化係数が1.0を超えている産業 (全国平均を超えている)
製造業、農業・林業、宿泊・飲食サービス業ほか

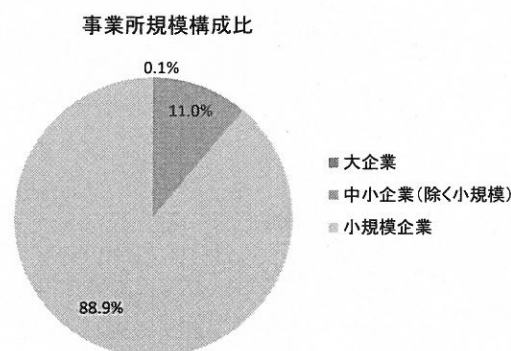


(3) 中小企業等の比率 (「中小企業白書 2018」)

- 県内企業の99.9%が中小企業で占められている
- 特に小規模企業の構成比率は88.9%と全国で最も高い

※小規模企業とは

- 製造業その他・・・従業員20人以下
- 商業・サービス業・・・従業員5人以下



2 機械電子分野

(出典：H28 経済センサス活動調査、H29 工業統計調査)

- 本県の製造品出荷額等(約2.4兆円)のうち、機械電子産業が72.4%(約1.8兆円)を占める。
- 製造品出荷額等の増加率が全国1位(H26・H27比較)、事業所数(従業者数4人以上)の増加率が全国2位(H26・H28比較)
- 製造業【事業所数】H26:1,858所→H28:2,106所(13.3%)【従業者数】H26:68,912人→H28:70,222人(1.9%)

3 情報分野

(出典：H28 年経済センサス活動調査)

- 情報通信業
【事業所数】H24:316所→H28:291所(▲7.9%)【従業者数】H24:3,947人→H28:4,214人(6.8%)

4 宝飾分野

(出典：H21・H26 経済センサス基礎調査、H26 工業統計調査)

- 本県の貴金属装身具(真珠装身具を除く)出荷額(259億円)は、全国の25.5%を占める。(全国1位)
- 貴金属・宝石製品製造業
【事業所数】H21:566所→H26:435所(▲23.1%)【従業者数】H21:3,626人→H26:2,662人(▲26.6%)

5 農業分野

(出典：2015 農林業センサス、国内製造ワインの概況(H28) H28 作物統計調査・作況調査(果樹)、山梨県の農林業、H28 経済センサス活動調査)

- 担い手の68%以上を65歳以上が占める。
- 10a当たり農業生産所得(198,000円)、ぶどう(4.25万t)・もも(3.99万t)・すもも(0.799万t)の収穫量、ワイナリー数(81所)が全国1位。
- 農林漁業(個人経営を除く)
【事業所数】H24:234所→H28:297所(26.9%)【従業者数】H24:2,431人→H28:3,168人(30.3%)

6 観光分野

(出典：H28 山梨県観光入込客統計調査、H24・H28 観光庁宿泊旅行統計調査、H28 経済センサス活動調査)

- H28 観光入込客数3,204.6万人、観光消費額4,157億円
- 延べ宿泊者数H24:702万人(うち外国人38.7万人)→H28:835.2万人(137.1万人)
※述べ宿泊者数は、従業員10人以上の事業所の全数調査、10人以下の事業所の抽出調査の結果
- 宿泊・飲食サービス業
【事業所数】H24:6,474所→H28:6,229所(▲3.8%)【従業者数】H24:43,472人→H28:42,415人(▲2.4%)

7 自動車整備分野

(出典：H28 年度統計からみたやまなし、H28 年度都道府県別認証、指定事業者数、および検査員、整備主任者数、H24・H28 経済センサス活動調査)

- H28 自動車検査員・整備士総数 2,733人
- H28 自家用車自動車保有台数(人口千人当たり) 471.1台(全国第7位)
- 自動車整備業
【事業所数】H24:622所→H28:688所(10.6%)【従業員数】H24:2,469人→H28:2,585人(4.7%)

8 電気分野

(出典：H24・H28 経済センサス活動調査)

- 電気工事業
【事業所数】H24:379所→H28:353所(▲6.9%)【従業者数】H24:2,085人→H28:1,865人(▲10.6%)